

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年03月26日 第555号「週刊五十嵐レポート」

選択と集中

平成24年3月25日(日)、日経新聞「日曜に考える」欄に「電機、『選択と集中』の誤算」という記事。

< NEC、ソニー、シャープ、パナソニック・・・・。今期の巨額赤字や人員削減を相次いで発表した電機メーカーには共通項がある。バブル後の「失われた15年」を克服すべく1990年代後半から2000年代にかけ事業の選別を迫られた企業。一時は苦境を脱したかに見えたが、リストラ途中で新事業の芽を摘んだり、集中投資が思惑外れとなった例が目につく。成功体験にとらわれ見通しを誤ると、「選択と集中」は縮小均衡を繰り返す悲惨な結果を招く。</p>

激変する市場で生き残るために事業の取捨選択は不可欠。だが、その場しのぎのリストラや一分野への過大な投資は、企業の創造力を阻害し、未来の芽を摘んでしまう。間違った「選択と集中」は必ず復讐する。>

「選択」とは、えらぶこと。適当なものをえらびだすこと。良いものをとり、悪いものをすてること。

「集中」とは、ひとところに集めること。また、集まること。

間違った選択とは、良いものと悪いもの、適当なもの、の選ぶ事を間違えてしまったこと。間違った集中とは、間違った選択に経営資源を集中すること。

将来に向け、良いもの(事業)をとり、悪いもの(事業)を捨てる選択を間違わずに正しく決定できるかどうかにかかっている。これは非常に難しい。しかし大企業であろうと中小企業であろうと経営者トップが決定しなければならない。

言葉をかえると、「選択」は「目標」を定めること。目標の定め方を間違えるとどんどん間違った方向へ進む。これが企業では赤字。目標を定めることの重要性を再認識する記事「電機、『選択と集中』の誤算」である。



3月25日(日)、13:00~15:00 江戸川区倫理法人会主催の「倫理経 営講演会」が開催された。講話者の1人は宮城県仙台にある「菓匠三 全」の田中裕人代表取締役社長。同社は「萩の月」で有名。

三全とは、「お客さまへのサービス」「喜働の職場づくり」「堅実経営」の三つの完全をめざす精神に由来。

同社の最大のピンチは3.11以降。東京の新宿伊勢丹や三越などで販売ができたことが再建につながったと。東京の百貨店に対して大変感謝されていた。

同社は、日本的経営を貫くと。終身雇用、年功序列等をしっかり守る。

田中社長と話をしていると「あなたは山形出身ですか?」と訊かれた。 当り。私の曾お爺さんが明治維新以降に山形から東京に出てきた。田中 社長曰く、全国出張しており、苗字から出身がおおよそわかるように なった。



明日は今日だ!

明日は今日だ!明日をいろいろ思い悩むのはやめよう。今日に神経を集中させよう。今日のあなたの考えと行動が未来を決定するのだ。今日こそ、積極的で前向きな計画を立てようではないか。明日何が起こるか考えてみよう!

解決方法が見つかる 新しい発明が生まれる 画期的な治療薬が発売される 悪法が廃止される 闘争解決の鍵が見つかる 新事業が誕生する 新しい職業に出会う

さあ、明日のための準備をしよう。まだまだ出番はたくさんあるのだから。

ロバート・シュラー著「いかにして自分の夢を実現するか」(三笠書房)

週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 月刊五十嵐レポートダイジェスト 町コンランチェスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時~12時。 町コン・ランチェスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

(㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5 03-3659-7703 Fax03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

